

# 平成25年度労働安全表彰事業場一覧

一般社団法人 日本アルミニウム協会  
安全委員会

標記表彰の選考に際しては、安全委員会において表彰条件に照らし審議した結果、下記の通り特別優良賞19件および優良賞4件を推薦することとした。  
なお、表彰は5月29日(木)の第34回定時総会時に行われる。

表彰の条件: 所定の期間、①、②、③の全てを満たすこと。

## 特別優良賞

- ①休業および不休業災害がゼロである事
- ②労働安全衛生規則第96条(火災&爆発)の届出事故が無い事
- ③構内協力会社も休業及び不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間: 暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名	受賞回数	
		特別優良賞	優良賞
Bグループ 25年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(平成24~25年)	株式会社LI XIL 有明工場	6回目	1回
	日本軽金属株式会社 名古屋工場	初受賞	2回
Cグループ 25年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(平成23~25年)	株式会社LI XIL 七光台工場	13回目	14回
	三協立山株式会社 福岡工場	7回目	
	東洋アルミニウム株式会社 日野製造所	7回目	
	Y K K A P 株式会社 北海道工場	4回目	
	日本圧延工業株式会社 滋賀工場	初受賞	
	昭和アルミニウム缶株式会社 彦根工場	2回目	
	昭和アルミニウム缶株式会社 小山工場	3回目	
Dグループ 25年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成22~25年)	日本軽金属株式会社 船橋工場	4回目	1回
	アルメタックス株式会社 静岡工場	2回目	3回
	アルメタックス株式会社 栗東資源環境センター	2回目	
	株式会社片木アルミニウム製作所 本社工場	7回目	
	新豆陽金属工業株式会社 本社工場	10回目	1回
	昭和アルミニウム缶株式会社 大牟田工場	4回目	
	株式会社アルミネ 三隅工場	2回目	
	株式会社アルミネ 川上東工場	2回目	
	株式会社アルミネ 大阪工場	2回目	
	株式会社アーレスティ 熊谷工場	初受賞	

## 優良賞

- ①完全無災害(休業および不休業災害がゼロ)である事

規模区分→表彰条件(期間: 暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名	受賞回数	
		特別優良賞	優良賞
Bグループ 25年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(平成24~25年)	株式会社神戸製鋼所 大安工場	1回	3回目
Cグループ 25年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(平成23~25年)	東洋アルミニウム株式会社 新庄製造所	3回	15回目
Dグループ 25年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成22~25年)	株式会社片木アルミニウム製作所 大山工場	2回	4回目
	新豆陽金属工業株式会社 夢前工場	1回	1回目

### 安全表彰事業場数の推移(暦年集計)

優良賞は、休業、不休業災害がゼロの優れた安全成績を達成した事業場に対し表彰を行う。

特別優良賞は、上記に加え、協力会社も休業及び不休業災害がゼロ、かつ労働安全衛生規則第96条(爆発及び火災)による届出事故がないこと

事業場規模区分	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計
Aグループ700人以上	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	2	1	0	1	0	0	0
Bグループ300人以上 700人未満	3	1	4	3	1	4	4	0	4	0	2	2	0	1	1	2	1	3
Cグループ100人以上 300人未満	6	3	9	7	1	8	6	2	8	6	2	8	6	2	8	7	1	8
Dグループ100人未満	3	2	5	2	2	4	6	2	8	7	3	10	11	1	12	10	2	12
合計	13	6	19	12	4	16	17	4	21	15	7	22	18	4	22	19	4	23

### <参考>安全成績の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	目標値	用語の定義
休業度数率	0.74	0.6	0.77	0.72	0.54	0.52	0.71	0.64	0.50	100万延べ実労働時間当たりの労災による死傷者数
総合度数率	2.60	2.23	2.68	2.17	2.02	2.40	2.16	2.00	2.00	(総合には不休業を含む)
強度率 (死亡災害者数)	0.04	0.26	0.14	0.22	0.02	0.03	0.15	0.02	0.02	1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数

